

まちの話題



始良・伊佐地区市町教育委員会 連絡協議会功労者表彰



平成 19 年 3 月から令和元年 12 月まで、伊佐市教育委員として教育行政にご尽力いただいた功績が称えられ、表彰されました。

川原 惟昭さん（下之馬場）

マスク寄贈



大口酒造から市内の小学校へ手作りマスク 1,300 枚、中・高校へ不織布マスク 2,650 枚を寄贈していただきました。いただいたマスクは、学校を通じて子どもたちに配られました。

新型コロナウイルス感染症対策のために市に寄贈いただきました。

- ・コクヨ株式会社 様
フェイスシールド 50 枚
- ・赤塚勝己 様（関西伊佐の会 名誉会長）
マスク 2,000 枚

＊みなさまのご厚意に心より感謝申し上げます

伊佐に広がれ！笑顔の輪



これは、黄色のスマイルポスターを掲示して、まちを明るくする企画です。発起人の宮迫一弘さんは「全国の飲食業・観光業は大打撃を受けて、先が見通せない状況ですが、みんなで助け合って乗り越えましょうという気持ちを込めて企画しました。スマイルポスターをみて一人でも和んでもらえたらうれしいです」と話しました。このポスターは、市商工会を通じて加盟店に配布されました。



新型コロナウイルス感染拡大による社会の閉塞感を打破しようと、鹿児島まちの駅伊佐支部が「えがおつなげるプロジェクト」を行って

伊佐が小説の舞台に！



「ガラッパの謎」(久真瀬敏也著：宝島社文庫)が、6月4日から全国の書店にて発売中です。伊佐市がストーリーの舞台になっており、隠れキリシタンとガラッパとの謎を解いていくミステリー仕立ての小説です。

作者の久真瀬さんは、伊佐市10周年記念事業「まちぶん」文学賞の佳作を受賞された経歴があります。実際に伊佐を訪れて、地域の歴史や建物を取材するうちに長編小説の着想を得たといいます。久真瀬さんは「本作はあくまでフィクションですが、ぜひ伊佐のみなさんにも楽しんでいただけたらうれしいです」と話しました。

市立図書館に特設ブースを設けますので、ぜひご覧ください。

ベトナムってどんな国？

6/9



市内のサンコーテック株式会社で働く4人のベトナム人の方々が南永小学校を訪れ、児童と国際交流しました。

4人は、ベトナムの観光・食・民族衣装など、日本との文化の違いについて、写真を使ってわかりやすく紹介しました。

沖園豪陽さんは「ベトナムのお札がプラスチック製でびっくりしました。きれいな景色をたくさん知ったので、将来ベトナム旅行に行ってみたいです」と元気に話しました。

PRボーイに新メンバー

6/1

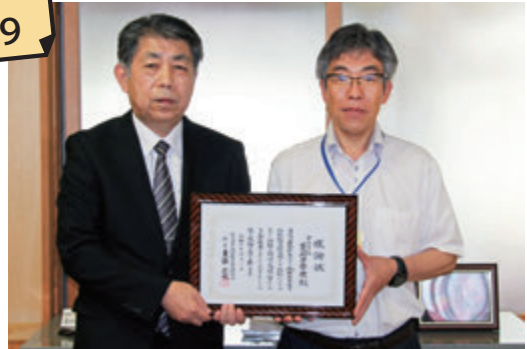


伊佐PRボーイの委嘱式が行われ、大友翔太さん(右から2人目)が新たにPRボーイに加わりました。

大友さんは「学生の頃は、県下一周駅伝に走っていました。今度は、PRボーイとして伊佐に貢献できるよう頑張ります。焼酎やお米のおいしさを県内外にアピールしたいです」と話しました。

租税について知ろう！

6/9



菱刈中学校は県租税教育研究委嘱校に選ばれ、県租税教育推進協議会から感謝状が贈られました。

租税教育は平成30年度から2年間、財務省九州財務局鹿児島財務事務所の職員による租税教室など外部からも講師を招いて熱心に行われました。「平成30年度全国中学生税に関する作文」では本校生徒が「日本税務協会会長賞」を受賞しました。

有馬秀文校長は「租税教育の取り組みをこの2年間だけで終わらすのではなく、これからも全教科の教育に活かしていきたい」と意気込みを話しました。